

誰も教えてくれなかったΣ(°Д°)

# 子育て×仕事の両立 ぶっちゃんけ話。



かんまゆ

はじめに。

こんな想いをこめました。

はじめに

---

## 仕事がおもしろくなってきた時に、妊娠。この先どうしよう・・・。

この本を読んで頂いた方で、このような気持ちの方が多いのではないでしょうか。

出産や結婚の多い20代後半～30代は、ちょうど仕事も落ち着いて次のキャリアアップのタイミングと重なります。

私が初めて妊娠したのも、まさに仕事がおもしろくなってきた時でした。

現在の仕事である、クリエイティブディレクターとして基本的な経験を積み、これからが実践！というタイミングでの妊娠。

子供は欲しいと思っていましたが、

いざ、妊娠してみると、「仕事大丈夫かな・・・」「いつお休みするって言えばいいの？」

「育児休暇中って無給なの？」「復帰できるの??」など

沢山の不安や疑問で、これからの生活が不安になってしまったものです。

そんな時に、周りの先輩ママ達に色々教えてもらったり出来れば良いのですが、バリバリ仕事もやりつつ、育児をしているママというのは、実際世の中に少なく、私の周りにはほとんどいませんでした。

ほとんどの友達が、出産前に専門的な仕事をしているにも関わらず産休に入るタイミングで会社を退職した子ばかりでした。

そのため、仕事と出産・育児の両立について学べる物はインターネットや書籍だけ。ノウハウや知識は得られましたが、「ぶっちゃけどうなの？」という所までを知ることがなくまあ、大丈夫でしょう。とナメた状態で出産・育児をすることになりました。

そしたらビックリ！

「赤ちゃんは抱っこしなきゃ寝ない」とか、「熱を出しても元気で寝ない」とか。出産して初めて知ったことばかりで、完全に育児をなめていた事が分かりました。

そして、育児と仕事との両立がどれだけハードかということも。

この本は、そんな経験に基づき

仕事と育児の両立を考えている女性の皆様に、「ぶっちゃけどうか？」という所を含めてお伝えし、少しでも参考になればと思い執筆しました。

現在、ウチの子はもうすぐ5歳になります。

10ヶ月の頃から職場復帰しているので、約4年ワーキングマザーをしていることになります。

苦労もありましたが、仕事が息抜きになることも多く

手抜き子育てで頑張っています。

そんな私の体験談を見ていただき、これからの育児と仕事の両立を楽しんでもらえたら幸いです

。少しずつ更新していきますので、ご期待ください♪

# 仕事と子育ての両立 ぶっちゃんけ話。

ああ。子供って世界で  
一番やっかいで可愛いクライアント。

## 産婦人科選びを慎重にすれば良かったって話

### 産婦人科選びってめちゃめちゃ大切って話。

私はもともと大学病院の産婦人科に通っていたのですが、急に引越しをすることになり、妊娠4カ月位で転院しました。

引越し先での産婦人科情報が分からなかったので、ネットで調べたところ、『全室個室』『ご飯が美味しい』という口コミのあったW医院に行くことに。

引っ越して早々、妊婦検診に行くと、白クマのような大きくて無口な先生が登場。

そしてビックリな事の数々。  
「ウチは性別は教えない方針だから。」「エコー写真は1枚500円ね。」  
「ご飯が美味しいって口コミは昔の先生の時ので。今は普通だよ。」などなど。

ネットで見た情報と全然違う。。。。。。

しかし、今さら産婦人科を探したり、検診に行くのが面倒だったのでこのまま通う事に。

白クマ先生は、私が予想しているよりも恐怖の先生でした。

体重制限に厳しい先生は、妊婦検診のたびに体重を細かくチェックされ

体重より少しでもオーバーしていると、  
「君はいいかもしれないけど、赤ちゃんが～～～うんぬん。かんぬん。」と  
10分位肅々と説教されるという。。状況。

それが怖くて、この産院に通っているプレママ達は妊婦検診の日は水も飲まずに体重検査を受けていました。  
どこのボクサーだよ。って状態。





分娩の日も、  
白クマ先生に「もう1回イキめ〜〜〜！」と  
怒られながら出産したのですが  
最後に白クマ先生にお腹の上に載られ  
「グエエエエ」となった状態で出産。

旦那は見事にドン引きをしていました。

感動的な出産というより、  
完全にネタになりました。。。。。

入院中も、携帯電話を使っている事が白クマ先生にバレると  
とても怒られるので、看護師さんが「先生来たから隠して！！」と教えてくれたり。  
どんだけ怖いんだよって感じ。

笑いは取れたけど、あの恐怖政治を二度と味わいたくないです。  
次の子が出来たら絶対違う産院にするんだ！！！！

世の中には、フランス料理が出てくる産婦人科や  
サービスの良い所も多いようで、  
もっとちゃんと調べたり、友達から聞いてから選べばよかったな〜〜〜  
と思ったのでした。

## 出産後太ったかって話

うちのお母さんがそうだったように、子供を太らせていました。

**が。私はむしろ、期間限定で超スリムになりましたww**

なんで期間限定か？ということですが、

私は母乳の出が非常によかったので、うちの子はミルク知らずの完全母乳っ子でした。

そのため、毎日毎日泣いたら母乳を飲ませた結果、色々吸いとられたから？か、

**体重が出産前のスタンダードの体重より4キロ位痩せてホッソリ。**

**出産後のデトックス効果で肌もピチピチ。**

最高の状態になったわけです。

妊娠した時からの経緯でいうと、

**妊娠⇒出産前でトータル9キロ太る⇒出産⇒13キロ減！**

という素敵な状態でした。

しかし、期間限定の言葉どおり

母乳をあげなくなると、その効力もなくなっていきました。

うちは保育園に入るのが生後11カ月だったので、そのタイミングで離乳。

それと同時に徐々に太っていき、子供が生まれて4年経った今は以前より3キロ位太っています（泣）

母乳を上げていた時には、食べても食べても痩せていったのに。

今では年齢的にも30半ばというのもあり、

食べれば食べるほど太りやすい体になりました。（\*Д`）=3ハア・・・

**母乳ダイエット、もう1回やりたいです。。。**





## 産休&育休中はどうだったかって話

仕事大好きな私にとって、一言でいうと、  
とても退屈で疎外感がある1年でした。

周りの人に聞かれたら、もっと子供との生活を楽しみなさいよ。

と怒られそうですが、リアルは話、  
初めての育児にドキドキして楽しかったのは初めの1ヶ月位。

あとは、赤ちゃんとの2人きりの生活が大変で退屈で。

仕事したくてしょうがなかったです。  
社会と断絶された感じがして。

もともと仕事人間の私は、プライベートでも友達の数が多い方ではありませんでしたし、女子高出身なので、キャッキャしている女性同士のお付き合いというものが不得意。

しかもスゴイ仕打ちが。

産休中に初めてできたママ友がある有名ネットワークビジネスの方で、家で開かれるパーティに行くたびにその会社の鍋やサプリを勧誘されるという。。。

その子自体はとてもイイ子だったので、ネットワークビジネス抜きで付き合いえないものだろうかと打診したところその後連絡が無くなりました。

そういうのって凹みますね(-ω-)

結局、このお休み中にできたママ友は2人位しかいなかったんですが



1人がネットワークビジネスだったんで連絡とらなくなって、  
もう1人は時々子供と遊んだりしました。

が。。。彼女は専業主婦で、趣味もあまり合わず。  
共通の話題が子供の事くらいしか  
なかったため

遊んで1時間位子供の話したら、  
話が尽きてしまい、  
その後は子供同士が遊んでいるのを  
見守るだけという・・・。

そんな感じでした。

この間に実感したのは、  
私に専業主婦は無理ってことです。 (ε` )フッフー♪



## 赤ちゃんって自分で寝ないという話

はい。赤ちゃんは自分で布団に入って眠るなんてことは  
ありませんよ。(°Д°)

まあ、2人目の赤ちゃんとか個人差はあると思いますが・・・。

私も自分に子供ができるまで知りませんでした  
赤ちゃんってのは、眠たいと泣くんですね～～～。

んで、抱っこすると安心して泣きやむと。

だから、1日中  
泣いて⇒抱っこ、泣いて⇒抱っこ  
の繰り返し。

「眠いと何で泣くんだよ(°Д°) 眠いなら寝ればい  
いじゃん」と  
何度キレてみたことか。

どうやら赤ちゃんってのけ 眠すと暗いから  
死んでしまうと思うらしく、恐怖で泣くらしいです  
。

1か月、泣いたから抱っこして布団に置いた瞬間に  
泣く  
だから ぞ～～～～と立ったまま抱っこしている  
状態という  
親に修業を与えてくれるわけですよ。彼らは。

産まれて1年位はそんな状態だったので、  
添い寝でトントンして寝るようになった時には  
ほんと感動を覚えました。

その時期には、夜泣きってのもあるんですけどね。はい。  
夜泣きがひどい時には、1時間に1回泣くってこともあって  
死ぬかと思いました。

大抵、そんな時世の中の旦那ってのは  
横で爆睡をしているので、イラッとするんですよ。

育児は眠気と旦那へのイライラとの戦いなのです。  
死にそうな1年が待っているのです。はい。



## 職場復帰後の高熱との戦いの話

職場復帰後は、子供の熱との戦いでした。

ウチは、5月に出産をして運良く翌年の4月から  
保育園への入園が決まりました。

職場復帰前に、「慣らし保育」という、  
子供を保育園に1～2時間位預けて  
様子を見るのを1週間するのですが、  
その時点で心の折れそうな出来事がいっぱい(°Д°)

慣らし保育1日目は、先生に預けてお別れの時に大号泣。

その後、2時間後に迎えに行くと、

先生のおんぶで、大暴れして大号泣。

おそらく、お別れしてから2時間泣きっぱなしだった  
んだらうな  
ということが一目瞭然(°Д°)

先生は慣れっこのようで、爽やかに「お帰りなさい」と  
言っていたけど、大変だっただらうなあ。。

毎日お別れの時には、心を鬼にして  
泣き叫ぶ娘に背を向けて、保育園を後にしていま  
した。

そんな日々が1週間位つづき、

ついに、1日保育&職場復帰日当日。  
見事に発熱(°Д°)ポカッ

えーっと。今までの1週間の準備は一体……………。

とりあえず、会社にすぐ連絡をして  
復帰日をずらしてもらいました。



ウチの会社は、仕事のフレックス & 自由な社風なので特に問題なかったのですが、会社によっては、「子供がいるところだから・・・」とか言われちゃったりするんだろうなあ。



子供の号泣&発熱で、

「ここまでして私は働く意味があるのか??」と早速心が折れそうになるのです。

その後、無事に子供も復活し保育園に入園。私も会社に復帰したのですが、そこから始まったのです。本当の試練が。

連日の発熱&お迎えの電話。

そして、毎日お別れのときの大号泣。

そんな日々が1年位続きました。。。。お別れの時の大号泣は、結局2歳位まで続いたので朝はとても辛かったです。

いまは4歳になって、笑顔で行ってきます&病気に強い体が出来て、「あの頃は大変だったな～」と笑って言えるようになりました。

連日の発熱については、

私の住んでいる地域では「病児保育サービス」というものがあり、病院の看護師さんが、発熱すると保育園に迎えに行ってくれ

病院内の保育園で預かってくれるサービスがあったためフル活用して乗り切りました。

病院の保育園は、先生も優しいし

テレビが見られるから、ウチの子は大好きで

今でも「病児保育行きたい～～～」と保育園をズル休みしようとする感じです。

特にウチの子は、熱が出て39度以下の場合、普通に元気なので、病児保育は天国のような場所なんだろうなあと思われま。



そんな試練の日々も、子供が3歳位になれば  
スッカリ楽になるので、**0歳～2歳までが頑張り時な  
のかも**ですね。

